



APAY eNews

翻訳: 永岡美咲 (日本Y M C A同盟)

APAY ユース参画リーダーシップ開発委員より 私の「若い」目を通して

Nattaphon Sakulvanaporn (タイ)

この記事を書いている私は、23歳のタイ人で、映画制作を行う学生で、クラシック・ギターの先生でもあり、エンターテインメント業界で歌手としての経験もあります。現実のコミュニティーで起こることを映すというよりも、「ドラマ」を制作する役割を強くもつメディア・プロデューサーであります。私がY M C Aにいることで、何がよいのかって？私が私であることでは、皆さんに、バイアスなく世界をありのままに見ることの大切さを説得するには十分ではないということが、心の底からわかっています。



上に書かれていることを読んで、皆さんはもしかしたらネガティブな印象を持ったかもしれません。私は、皆さんの目を引こうとしたのです。意図があるうとなかろうと、メディアは常にこのようなやり方をするのです。お互いにコミュニケーションの過程の反対側にいる私たちは、それに気づくよう十分に意識をしていなければなりません。

メディアはドラマを作る、なぜなら人々が楽しむからです。

しかしながら、私にとって重要なのは、私の役者たちが「ドラマ」の定義が「生活を真似ること」であるということに気づくことなのです。これは、本当のことです。もしこれが本当ならば、これらのドラマとともに生きるということは、もしかしたら人生における真実かもしれません。以上です。もし私たちがこのことを理解しているのなら、Y M C Aがメインストリームのメディアと共存するための理由はたくさんあります。私たちがメディアの役割を理解しているのなら、Y M C Aにとって次のステップは、私のようなメディア・プロ

デューサーを育成することです。

いつも必要だと感じてきたような自分の見方を表現できる機会があって、私はラッキーだと思います。想像してください。テレビがつけられ、嫌気がさすくらいたくさんの情報を受け取るとしたら。そうしたら、きっとテレビを消して、自分の生活に戻ろうとするでしょう。そして、ふり返って、こんなにも貢献したのだから、少しリラックスしたいのだと気づくでしょう。そしてもう一度テレビをつける。それが、Y M C Aについて話を聞く機会となるかもしれません。

「ユース参画とリーダーシップ開発委員会 (Youth Participation and Leadership Development Committee: YPLD)」は、地球市民を育成しようとしています。27か国の代表のユースが構成員です。ユース自身が、力を持って、自分たちの考えについて声を上げてほしいと考えています。

APAY e-News の今号より、ユース委員たちが、Y M C A内部だけでなく、コミュニティーなど身の回りの社会問題に関する自分たちの考えを表明していきます。

総主事デスクより・・・ユース・エンパワーメント



アジア・太平洋Y M C A同盟総主事
山田公平

APAYにはユース委員会があり、現在12人が委員を務めています。(日本からは橋崎頼子さん(神戸Y M C A)が委員として登録され、ほかに黒澤伸一郎さん(横浜Y M C A)が委員会に出席できるメンバーとして登録されています。) ユース委員会では、今年から新たに Youth Reps と呼ばれる、国ごとの代

表コースを選ぶことを提案しました。各国から 2 名の Youth Reps が、APAY のコース委員会と共に活動を展開するようになります。これまでの反省として、せっかくコース委員会で話し合われたことが、それぞれの国に帰るとなかなか行動に移しにくいと言うことから、Youth Reps 構想が浮かんできたのです。これからは、コース委員会での決定事項が、各国の Youth Reps を通して、確実に行動に移されるようになるようにということです。これにより、Y M C A の中でコースの活動が強化され、コースの声がもっと反映されるようになるという願い(コース・エンパワメント)が押し進められるようになると思います。コースの声が各ローカル Y M C A で、国レベルで、そしてアジア太平洋地域の Y M C A の中でももっともっと Y M C A 計画や活動のなかに反映されることを願っています。

今回の世界 Y M C A 同盟大会 (World Council Meetings) は、2014 年 6 月 29 日から 7 月 4 日までアメリカ・コロラド州で開催されます。そのテーマは、APAY の計画同様、“Empowering Young People”です。そのことを実現するために世界同盟では、200 人の“Change Agents”を各国から募ることにしました。考え方は同じなので、APAY では、今回選ばれた Youth Reps 約 35 人と APAY コース委員会メンバー 12 人を世界同盟の Change Agents として登録します。まさに次の Y M C A におけるリーダーシップを産み出すための長期的な投資をしていくこととなります。2014 年の世界大会まで、これら選ばれた Change Agent が各地域でトレーニングを受け、各国のコースによる活動が活発に展開されることを期待しています。その結果が 2014 年の世界大会で発表されます。Y M C A が真のコース育成団体であることを世界が認め、Y M C A の持つ力を世界にアピールする機会としたいと考えています。この世界大会に参加する人たちは、若者たちの力、エネルギーを感じるようになると思います。また、若者の力は、まさにソーシャルメディアで見られるように、広い社会とコミュニケーションを通してつながっていくという特徴があり、若者の力が世界に広がり、発揮されることを期待しています。

このように、APAY のいう Youth Reps と世界同盟が言う Change Agents とは若者を指しています。世界同盟が生み出す 200 人の Change Agents のうち 20-25% は APAY の Youth Reps ということです。APAY では現在までに約 20 の国から 30 人近くの Youth Reps が推薦されてきました。その半分は若いボランティアで、残り半分は若手のスタッフです。最初のトレーニングは、今年の 8 月にスリランカで 1 週間開かれます。APAY ではかれらに地球市民教育の推進者となってもらうようトレーニングを行います。スリランカの社会状況を理解し、自分たちで何ができるかを一緒に考えるというセッションが中心です。そして、それぞれの国に帰ってから、その国の問題や社会状況にたいして若者として何ができるかを考え、計画を作っていきます。その計画の実施を 1 年目にやり、その活動報告と更なる活動推進のためのトレーニングを 2 年目、2013 年夏に行います。その活動がどうなっているかを確認し、次には Change Agent として 2014 年の世界大会に参加します。さらに同じ人たちが 2015 年の APAY の General Assembly でこの 4 年間の総括をし、さらなるコースエンパワメントのための計画をまとめるという流れとなっていきます。活動はまずローカルレベルで始まり、そして、徐々に国レベルでの活動に展開できるようになるよう期待しています。これらの若者による活動は、成功例も失敗例もふくめて各国の Youth Reps と分かち合い、相談しながら、励ましあいながら進めていこうとしています。

今回選ばれた Youth Reps たちが、いつの日か、各国の Y M C A の中心的ボランティアやスタッフになっていることになると期待しています。国内でも、世界でも、人を育てるには、かなりの忍耐と投資が必要ということです。いま、世界同盟でも APAY でも今年からそれを始めようとしています。その一歩が、まさに今年の 8 月にスリランカで始まります。若者たちの力や発想をもっともっと Y M C A の中に活かしていくことによって、世界中の Y M C A が、「次世代の Y M C A」に向かって大きな変化を遂げるようになることを期待しています。

ニューデリー Y M C A 世界環境デー

ニューデリー Y M C A は、6 月 5 日の世界環境デーに寄せて、「グリーン・エコノミー：あなたはその一員？」をテーマに正式な会議を開催しました。ここ数年間にわたり、ニューデリー Y M C A は市民社会への参画として、通常の生活に影響を及ぼすものについての対話やディベート、ディスカッションのための場所を提供してきました。

国連環境計画 (UNEP) は「グリーン・エコノミー」の重要性を強調しながら、収入が増大し、公的・私的な投資によって雇用がもたらされることによって炭素化合物の排出が減らされ、エネルギーや資源の有効活用が拡大し、生物多様性や生態系の喪失が防げるとしています。



前 APAY 主任主事 Cristina Dalope 氏 祝ご結婚！

クリスティーナ・ダローペ氏 (前 APAY 主任主事) と Andre Mamaril 氏の結婚式が 6 月 23 日にフィリピン・パンガシナンにて執り行われました。

末永くお幸せに！



Y M C A ワールド・チャレンジ (Y M C A World Challenge) 2012

Y M C A ワールド・チャレンジの目的は、500 万人を動員し Y M C A のストーリーを語ることです。あなたの Y M C A ワールド・チャレンジの計画を始めて、活動を世界中に広めてください。2012 年、ともに歴史をつくりましょう！



各国 Y M C A 新人事

香港 Y M C A に新総主事 Aldrin Leung 氏



7 月 1 日付で Aldrin Leung 氏が、香港 Y M C A (ソールズベリー) の新総主事 (General Secretary / CEO) に任命されました。1991 年に総支配人 (General Manager) として Y M C A に入職されました。アメリカ・リンカーン大学で経営学博士課程 (DBA)、アメリカ・ニューポート大学で経営学修士課程 (MBA) を修了されました。アメリカ・ハワイ大学で科学の短期大学士を取得され、American Hotel and Lodging Association よりホテル管理者としての認定を受けています。

シンガポール Y M C A 総主事 アルバート・チン氏退職

シンガポール Y M C A 総主事 アルバート・チン氏が、6 月 30 日付で退職されました。新たな道に進まれますが、役員として Y M C A にはかかわり続けます。Y M C A には 7 年半在職され、Y M C A の発展に大きく貢献されました。彼の在職中、神のご加護により、毎年徐々に売り上げを伸ばし、2005 年の 840 万ドルから 2011 年には 1900 万ドルへと成長を遂げました。



彼のリーダーシップやガバナンス、新しいプログラムのアイデア等を通じた、シンガポール Y M C A への大きな功績は、シンガポール Y M C A のみならず世界規模の Y M C A 運動に大きなインパクトを与えました。財政、技術の両面での APAY のプログラムへの協力に感謝いたします。

スリランカY M C A同盟年次会議

第47回スリランカY M C A同盟年次会議が5月25日～26日、モラトゥワY M C Aのホストにより、PiliyandalaのSubodhi Retreat Centreにて開催されました。主賓に名誉司祭 Rt. Rev. ケネス・フェルナンド師をお迎えし、基調講演が行われました。Felician Thayalraj Francis氏がスリランカY M C A同盟会長に再選され、Nirmal Fonseka氏およびPhilip Damion氏が副会長として再選されました。役員の皆様にお祝い申し上げるとともに、今後の繁栄に向けて、Y M C A運動を動かしていただくことをお祈りします。



インドY M C A同盟に新会長 Rolland Williams氏



3年ごとに開催されるインドY M C A同盟協議会が6月8日～10日にVisakhapatnamにて開催され、2012年 - 2015年のインドY M C A同盟の新会長として、Rolland Williams氏 (Visakhapatnam) が任命されました。

1300人が参加したこの協議会には200人のユースがインドのY M C A運動をもう一度ユース優先であり、ユースのリーダーシップの成長の機会を与え、重要な政策決定のパートナーとして巻き込むことを訴えました。

地球市民育成トレーナーズ・トレーニング 2012年8月 スリランカ

アジア・太平洋Y M C A同盟は、4回目となる地球市民育成プロジェクト トレーナーズ・トレーニングを開催します。スリランカY M C A同盟の50周年記念行事とあわせ、8月7日～12日に開催されます。

この研修は、それぞれのY M C Aで地球市民育成に関わる若いスタッフやボランティアたちのためのものです。5日間のプログラムでは、地球市民となるために必要となる、適切な知識、スキル、行動のしかたを身につけるための学びが行われます。各国の「ユース代表 (Youth Reps)」のみが対象となります。

第30回 アドバンスト・スタディーズ・プログラム

APAY主催 第30回アドバンスト・スタディーズ・プログラム (ASP) が2012年11月5日～30日に、香港・ウーカイシャ・ユース・ビレッジで行われます。ASPは、各Y M C Aにおけるマネージャークラスのスタッフ対象で、今日の現状からのニーズと、各コミュニティでのY M C Aミッションの達成を目指すものです。

発行元
アジア・太平洋Y M C A同盟
 Asia and Pacific Alliance of YMCAs
 23 Waterloo Road, 6th floor, Kowloon, Hong Kong
 tel. 852-2780 8347, 2770 3168, 2783 3058; fax 852- 2385 4692
 e-mail: office@asiapacificymca.org